

平成21年度

大気汚染防止推進月間ポスター図案受賞作品



環境大臣賞

未来にも。輝く青い空。

一般(長崎県) 41歳
原口久美さん



環境再生保全機構
理事長賞

君のいる未来に
青い空をのこしたい

石川県立羽咋工業高校(石川県) 3年
米田美香さん



君のいる未来に
青い空をのこしたい



優秀賞

きれいなおそら
きれいなとり

八王子実践幼稚園(東京都) 5歳
中村 茉里南さん



優秀賞

キレイな空気は
一番のごちそう
大気汚染防止に協力を！

加古川市立山手中学校(兵庫県) 3年
三木 綾香さん

CONTENTS 目次

公害健康被害予防事業の概要	2
平成20年度事業実績及び平成21年度事業概要	3
事業費	3
平成21年度事業のポイント	3
環境保健事業	4
ソフト3事業(健康相談・健康診査・機能訓練事業)	4

知識普及事業等	6
調査研究	9
環境改善事業	10
知識普及事業	10
調査研究	12

公害健康被害予防事業の概要

公害健康被害予防事業は、大気汚染の影響による健康被害を予防するために実施しており、これにより地域住民の健康の確保を図ることを目的としています。

公害健康被害予防事業を実施するために必要な費用は、事業者等から拠出されている拠出金及び国からの出資金により基金を設け、その運用益により賄うこととされています。事業内容としては、機構が自ら行う事業（直轄事業）と地方公共団体が行うものに対し助成する事業（助成事業）からなっています。

なお、平成20年度より、環境省から自立支援型公害健康被害予防事業補助金が交付されています。

公害健康被害予防事業

機構が自ら行う事業 (直轄事業)

環境保健事業(基金事業)

調査研究

大気汚染による健康被害の予防に関する各種の研究

知識の普及

- 講演会、講習会等の開催
- ホームページ、パンフレット等による情報提供
- ぜん息電話相談の運営
- ぜん息児水泳記録会の開催 など

研修

地方公共団体が行う公害健康被害予防事業の従事者を対象に効果的な事業の実施に必要な知識や技術の修得のための研修

地方公共団体が行う事業に対して助成 (助成事業)

ソフト3事業

健康相談事業

医師・保健師等によるぜん息等に関する相談・指導

健康診査事業

乳幼児を対象とした問診等によるぜん息の発症予防のための指導

機能訓練事業

ぜん息児等を対象とした水泳訓練教室、音楽訓練教室、ぜん息キャンプ

施設等整備(助成)事業*

医療機器等整備(助成)事業

環境改善事業

調査研究

局地的大気汚染対策に関する調査研究

知識の普及

- 大気環境改善の技術等に関してホームページやパンフレット等により情報提供
- 低公害車フェアの開催(横浜 ほか)
- エコドライブの普及促進
- 大気汚染防止推進月間キャンペーン など

研修

地方公共団体が行う公害健康被害予防事業の従事者を対象に効果的な事業の実施に必要な知識や技術の修得のための研修

計画作成事業

地域の大气環境改善のための計画作成への助成

施設等整備(助成)事業*

最新規制適合車等代替促進(助成)事業

排出ガスのより少ない最新規制車への代替促進への助成

大気浄化植樹(助成)事業

大気浄化植樹への助成

※施設等整備(助成)事業は地方公共団体への直接助成と地方公共団体を介して民間事業者への間接助成に分かれています。

自立支援型公害健康被害予防事業(平成20年度より実施)

国



補助金

環境再生
保全機構



機構が実施、地方公共団体が行う事業に対する助成

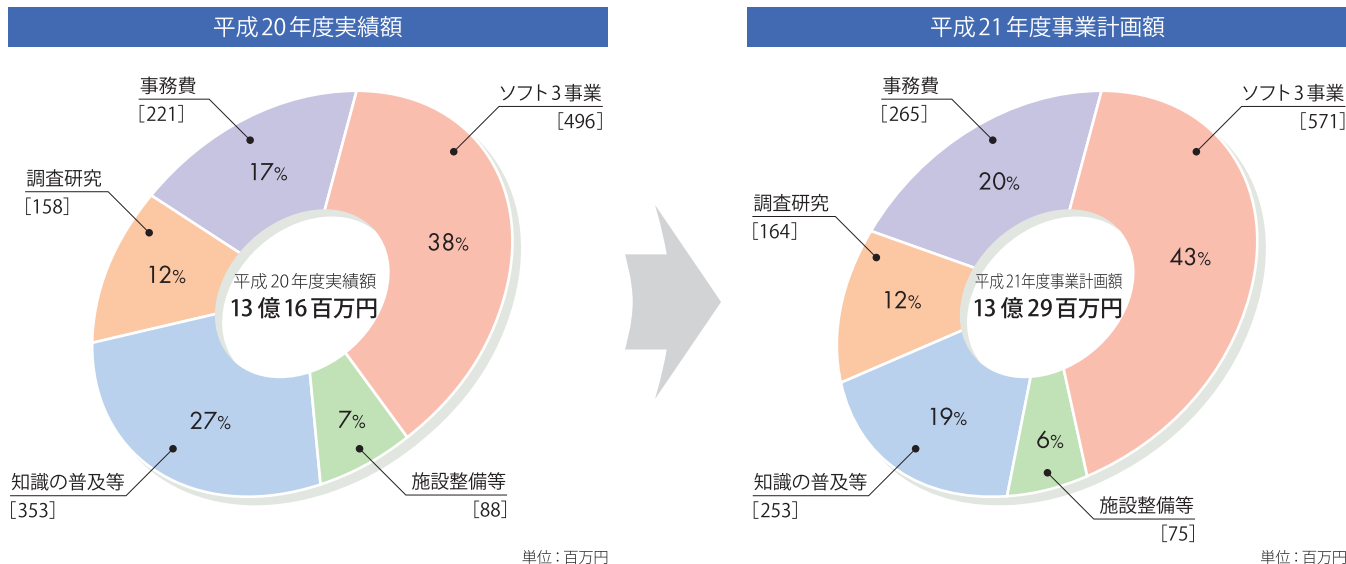
ぜん息患者等が日常生活の中でぜん息の予防、健康回復等を行うことを支援するための事業

平成20年度事業実績及び平成21年度事業概要

事業費

平成21年度の事業費は13億29百万円を予定しており、対前年度13百万円の増額となります。

事業費の対前年度比較



平成21年度事業のポイント

1 ソフト3事業等 (健康相談・健康診査・機能訓練事業)

地域住民のぜん息等の発症予防、健康回復に直接つながる事業に引き続き重点化を図る観点から、健康相談、健康診査及び機能訓練事業(ソフト3事業)を重点的に助成します。その際、環境省の自立支援型公害健康被害予防事業補助金(予算額2.05億円)も活用します。

また、今年度から2年間、ソフト3事業の参加者に対して事業参加前後におけるぜん息症状の変化などについてアンケート調査を行い、ソフト3事業の事業実施効果の測定を行います。

2 知識の普及事業

健康相談、健康診査及び機能訓練事業(ソフト3事業)の実施に必要なパンフレット等の作成、ぜん息専門医による講演会・講習会の開催、無料のぜん息電話相談等の事業を積極的に実施します。

3 調査研究

気管支ぜん息やCOPD等の発症・増悪の防止、健康回復のための知見を得るための調査研究「大気汚染による健康影響に関する総合的研究」を行っています。

平成21年度からは新たな研究分野として、ぜん息等の発症予防、健康回復を図るための事業の根拠となる知見の確立及び事業実施基盤の強化、事業効果の適切な把握に係る課題に重点化を図り、公募により実施します。

4 大気環境の改善事業

局地的な大気汚染の改善を図る観点から、エコドライブ(環境にやさしい自動車運転)の普及促進のためエコドライブコンテスト等の事業を展開するとともに、低公害車フェアや調査研究を実施します。

環境保健事業

◆ソフト3事業（健康相談・健康診査・機能訓練事業）

当機構では、地方公共団体が行うソフト3事業等に対して、その費用を助成しています。
事業内容及び助成費用は次のとおりです。

健康相談事業

■ 事業内容

地方公共団体では、医師、保健師、栄養士等を確保し、地域住民を対象にぜん息等に関する相談事業を行っています。相談方法としては、集団相談、個別相談、家庭訪問指導等があり、相談以外にも気管支の状態を客観的に把握することができるピークフローメーターの支給又は貸与、ぜん息薬の吸入を補助するネブライザーの貸与なども行っています。

基金事業	● 集団相談（健康教室等）
自立支援型 公害健康被害 予防事業	● 個別相談 ● 家庭訪問指導 ● ピークフローメーターの支給又は貸与 ● ネブライザーの貸与

■ 事業規模

年度	事業実施自治体数	相談参加者数(人)	家庭訪問指導者数(人)	ピークフローメーター(個)	ネブライザー(台)
H21年度(予定)	43	14,795	364	260	100
H20年度(実績)	42	10,269	—	—	—

■ 事業費(平成21年度)

59,451千円(平成20年度実績：45,891千円)

健康診査事業

■ 事業内容

地方公共団体では乳幼児健診の機会を利用して、保健師・医師等の問診・診察等により児のアレルギー症状の有無等を把握し、ぜん息の発症リスクが高い児については発症予防のための適切な指導等を行っています。

基金事業	● 健康診査 ● 血液検査
自立支援型 公害健康被害 予防事業	● 健康診査により把握されたリスク児に対する指導 ● ピークフローメーターの支給又は貸与 ● ネブライザーの貸与

■ 事業規模

年度	事業実施自治体数	指導対象リスク児 スクリーニング者数(人)	血液検査受検者数(人)	ピークフローメーター(個)	ネブライザー(台)
H21年度(予定)	27	144,804	932	0	0
H20年度(実績)	27	135,442	468	—	—

■ 事業費(平成21年度)

159,326千円(平成20年度実績額：131,558千円)

機能訓練事業(水泳訓練教室、音楽訓練教室、ぜん息キャンプ)

■ 事業内容

継続的な運動は、ぜん息患者の基礎体力や心肺機能を高め発作を軽減するなど、体力面の効果などが期待されていることから、地方公共団体ではぜん息患者を対象に、医師の健康管理のもと、専門の指導員による水泳訓練、腹式呼吸を習得するために専門の指導員により吹奏楽器等を用いた音楽訓練、専門の指導員による療養生活上の指導、リハビリテーションの指導、レクリエーション活動等のぜん息キャンプを行っています。



15歳未満の者に対する水泳訓練教室

基金事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 15歳未満の者に対する水泳訓練教室 ● 15歳未満の者に対する音楽訓練教室 ● 15歳未満の者に対するぜん息キャンプ
自立支援型 公害健康被害 予防事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 15歳以上の者に対する水泳訓練教室 ● 15歳以上の者に対する音楽訓練教室 ● 自己管理説明会、個別指導 ● ピークフロメーターの支給又は貸与 ● ネプライザーの貸与



15歳未満の者に対する音楽訓練教室



15歳未満の者に対するぜん息キャンプ



15歳未満の者に対するぜん息キャンプ

■ 事業規模

年度	水泳教室		音楽訓練教室		ぜん息キャンプ	
	実施自治体数	参加者数(人)	実施自治体数	参加者数(人)	実施自治体数	参加者数(人)
H21年度(予定)	37	43,657	14	1,285	28	7,263
H20年度(実績)	37	31,053	12	677	29	5,814

■ 事業費(平成21年度)

309,967千円(平成20年度実績額：268,939千円)

◆ 知識普及事業等

ソフト3事業の従事者、養護教諭等を対象とした研修・講習会の開催

■ 地方公共団体の職員等を対象とした研修

公害健康被害予防事業に従事する地方公共団体の職員等を対象にぜん息に関する最新の知識などを提供し、事業を効果的に実施するための人材を育成しています。

平成20年度は6種9コースの研修を行い、延べ369名が受講されました。

平成21年度も前年同様に6種9コースの研修を計画しています。

コース名		実施場所	実施(予定)日
初任者研修	(小児)	東京	平成21年6月1日
	(成人)	東京	平成21年6月2日
機能訓練研修		東京	平成21年7月1日～3日
保健指導研修(東日本)	(小児)	東京	平成21年9月2日～4日
	(成人)	東京	平成21年9月17日～18日
保健指導研修(西日本)	(小児)	大阪	平成21年9月30日～10月2日
	(成人)	大阪	平成21年10月22日～23日
予防事業フォローアップ研修		東京	平成21年11月30日
環境改善研修		東京	平成22年1月14日～15日



グループ討議(保健指導研修)



呼吸介助法等の実習風景(保健指導研修)

■ 養護教諭等を対象とした講習会

養護教諭等を対象にぜん息児童の学校生活上の注意点などについて理解を図るための講習会を実施しています。



養護教諭を対象とした講習会



医師を対象とした講習会

開催(予定)日	開催(予定)場所	お問合せ先	
平成21年5月8日(金)	名古屋市熱田保健所	名古屋市環境局 保健事業課	☎052-972-2690
平成21年6月23日(火)	川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)	川崎市健康福祉局 医療部 環境保健課	☎044-200-2435
平成21年6月29日(月)	川崎市中原区役所5階 505号室	川崎市健康福祉局 医療部 環境保健課	☎044-200-2435
平成21年7月23日(木)	神奈川県大和保健福祉事務所	神奈川県健康増進課 保健栄養歯科班	☎045-210-1111
平成21年7月30日(木)	神戸市勤労会館	神戸市保健福祉局 健康部 地域保健課	☎078-331-8181
平成21年8月19日(水)	南房総市富山公民館	板橋区立天津わかしお学校	☎0470-57-3590
平成21年8月24日(月)	渋谷区役所3階 保健所講堂	渋谷区保健所 地域保健課 公害保健係	☎03-3463-2433
平成21年11月16日(月)	中原休日急患診療所	川崎市健康福祉局 医療部 環境保健課	☎044-200-2435
平成21年12月9日(水)	名古屋市誠城ホール	名古屋市環境局 保健事業課	☎052-972-2690
平成22年2月20日(土)	市立吹田市民病院 新館3階 講義室	吹田市福祉保健部地域福祉室 福祉総務課 公害健康補償係	☎06-6384-1827
平成22年2月20日(土)	清水テルサ6階 研修室 大	静岡県厚生部 疾病対策室	☎054-221-2253

ぜん息患者及びその家族を対象とした講演会、情報の提供

■ 講演会

ぜん息患者及びその家族を対象にぜん息専門医からのぜん息治療の最新情報や日常生活の過ごし方などに関する内容の講演会を地方公共団体と連携して実施しています。

開催(予定)日	開催(予定)場所	お問合せ先	内容
平成21年8月7日(金)	神奈川県三浦合同庁舎 4階衛生教育室	神奈川県 三崎保健福祉事務所 ☎046-882-6811	こどもアレルギー教室 ～ぜん息の基礎知識とその対応を中心に～
平成21年10月5日(月)	東京都庁第一本庁舎 大会議場	東京都 福祉保健局健康安全部 ☎03-5320-4494	子供のぜん息及び食物アレルギーについて ～正しい知識と対処法～
平成21年11月14日(土)	四日市市総合会館 8階視聴覚室	四日市市 環境部環境安全課 ☎059-354-8278	小児及び成人のアレルギー疾患について
平成22年1月9日(土)	神戸市勤労会館 7階大ホール	神戸市 保健福祉局健康部地域保健課 ☎078-322-5248	これだけは知っておきたい小児ぜん息と食物アレルギー ～アレルギー対策で健やかな生活を～
平成22年1月21日(木)	富士市フィランセ西館 4階ホール	富士市 保健部健康対策課 ☎0545-64-8994	子供のぜん息及び食物アレルギーについて ～正しい知識と対処法～

■ パンフレット等の作成及び情報提供

ソフト3事業(健康相談、健康診査及び機能訓練事業)の実施に必要なパンフレット等を作成し、地方公共団体等の協力を得て広く地域住民等に配布するほか、ぜん息等の最新情報を盛り込んだ定期刊行誌「すこやかライフ」(34・35号・記念号)及び健康管理カレンダーを作成します。

新刊パンフレットのご案内 すこやかライフ記念号

読者から今までの記事で要望の多い内容を最新の情報に更新して取りまとめました。



ぜん息等に関するパンフレットは電話、FAX、ホームページからお申し込みいただけます。(費用は無料)

TEL 044-520-9568 FAX 044-520-2134
<http://www.erca.go.jp/asthma2/pamphlet>

■ Webによるぜん息等に関する情報提供

機構では、ぜん息等に関する正しい知識を身につけていただくために、ホームページ「ぜん息などの情報館」により情報の提供を行っています。最新の情報も随時更新しておりますので是非ご活用ください。

コンテンツ
内容

- 新型インフルエンザ特集
- ぜん息・COPDの基礎知識
- イベント情報
- パンフレット・DVDの申込み など

<http://www.erca.go.jp/asthma2/>



ぜん息専門医及び看護師による相談

■ ぜん息電話相談室 (無料)

患者やご家族が抱える不安や疑問の解消、治療意欲の向上などの支援を目的として、ぜん息患者等からの相談等に対し、専門医、看護師が専門的、実践的な助言を提供する電話相談を実施しています。

ご相談はフリーダイヤルのほか、FAX、メールでも受け付けています。

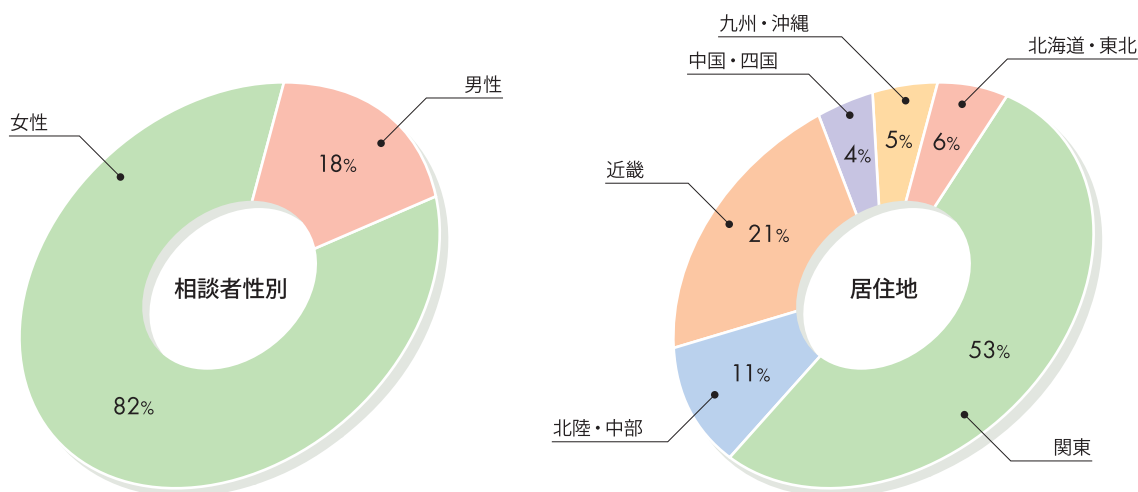
TEL 0120-598014 FAX 03-3571-3372
<http://www.zensoku.pr.arena.ne.jp/>

■ 平成20年度の実績

実施期間	相談時間	相談員	相談件数
平成20年4月1日～平成21年3月31日(祝日・土日除く)	9時～17時	専門医又は看護師	1,169件 内訳(電話:1,038件、FAX:8件、e-mail:101件など)

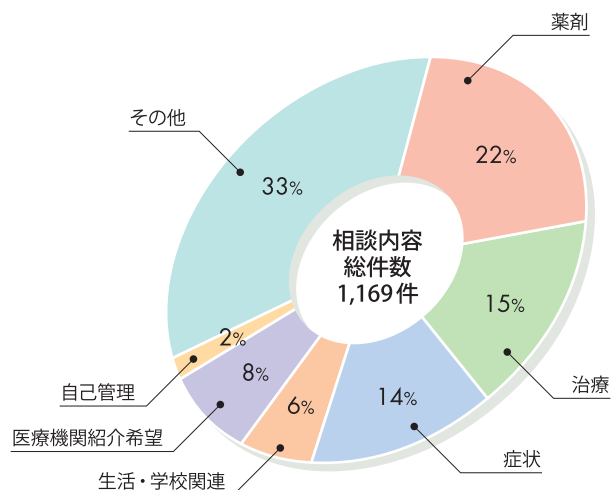
■ 相談者のプロフィール

全体の8割強(82%)が「女性」からの相談を占め、全体の4割強が30代からの相談です。相談者の居住地域は、関東が53%、近畿地方が21%と大都市圏からの相談が多くなっています。



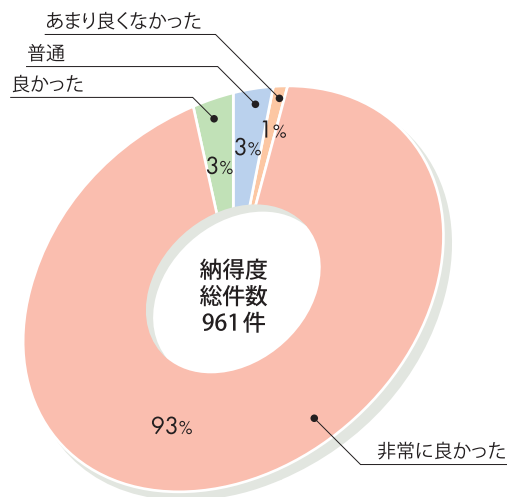
■ 相談内容

最も多い相談内容は「薬剤」で全体の22%を占めています。その他日常生活に至るまで相談内容は多岐にわたっています。



■ 納得度

非常に良かった93%、良かった3%とほぼ全員に満足していただいています。



◆ 調査研究

気管支ぜん息やCOPD等の発症・増悪の防止、健康回復のための知見を得るための調査研究「大気汚染による健康影響に関する総合的研究」を行っています。

平成21年度からは新たな研究分野として、ぜん息等の

発症予防、健康回復を図るための事業の根拠となる知見の確立及び事業実施基盤の強化、事業効果の適切な把握に係る課題に重点化を図り、公募により実施しています。

■ 平成21年度の研究課題

NO	主任研究者	所属施設	職名	研究課題
1	小田嶋 博	国立病院機構福岡病院	副院長	健康相談事業の効果的な実践及び改善のための評価手法に関する調査研究
2	近藤 直実	国立大学法人岐阜大学大学院 医学系研究科(小児病態学)	教授	気管支喘息のテーラーメイド的予知に基づく発症予防法とQOL調査票を導入した独自の評価法の確立に関する調査研究
3	望月 博之	東海大学 医学部専門診療学系小児科学	教授	健康診査事業の効果的な実践及び改善のための評価手法に関する調査研究
4	宇理須 厚雄	藤田保健衛生大学医学部小児科	教授	ぜん息キャンプ・水泳訓練教室・スケート教室の効果的な実践及び改善のための評価手法に関する調査研究
5	新宅 治夫	大阪市立大学医学部小児科	准教授	喘息キャンプの効果的な実践及び改善のための評価手法に関する調査研究
6	大矢 幸弘	国立成育医療センター 第一専門診療部アレルギー科	医長	ぜん息患者の自立を支援する長期管理に関する調査研究
7	藤澤 隆夫	国立病院機構三重病院 臨床研究部	部長	気道炎症評価にもとづく小児ぜん息患者の効果的な長期管理法と自己管理支援の確立に関する調査研究
8	秋山 一男	独立行政法人国立病院機構 相模原病院	院長	気管支ぜん息患者の年齢階層毎の長期経過・予後を踏まえた健康相談・健康診査・機能訓練事業の事業内容の改善方法に関する調査研究
9	赤澤 晃	国立成育医療センター 総合診療部小児期診療科	医長	小児・思春期を対象とした健康相談・健康診査・機能訓練事業を効果的に実施するために事業従事者が有すべき知識の体系化に関する調査研究
10	大林 浩幸	岐阜県厚生農業協同組合連合会 東濃厚生病院 内科	部長	『喘息死ゼロ』実現に向けた、薬剤師吸入指導の実態調査と吸入指導セミナーの効果検討に関する調査研究
11	滝澤 始	帝京大学医学部付属溝口病院 (第四内科)	教授	ぜん息患者および未発症成人における気道炎症病態と大気汚染状況との関連に関する調査研究
12	森 晶夫	独立行政法人国立病院機構 相模原病院 臨床研究センター	部長	吸入ステロイド薬服薬指導の実態と効果的な病薬連携、指導プログラムによる長期管理改善に関する調査研究
13	大田 健	帝京大学医学部 内科学講座	教授	成人を対象とした気管支喘息患者に対する効果的な保健指導の実践に関する調査研究
14	千住 秀明	国立大学法人長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科	教授	COPD患者と公害認定患者に対する重症度別、簡便呼吸リハビリテーションプログラムの多施設間無作為比較試験に関する調査研究
15	一ノ瀬 正和	和歌山県立医科大学 内科学第三講座	教授	COPD患者における日常生活活動性の定量評価法の確立に関する調査研究
16	木田 厚瑞	日本医科大学呼吸器内科	教授	COPD患者の在宅生活における機能回復に関する調査研究

第7期(平成18年度～平成20年度)調査研究成果の発表及び研究評価の実施

第7期(平成18年度～平成20年度)大気汚染による健康影響に関する総合的研究が3年目の最終年度であったことから、平成21年3月1日に環境保健調査研究報告会を開催し、各研究者より3年間の研究成果について発表していただくとともに、評価委員による評価(事後評価)を行いました。

調査研究成果は今後のソフト3事業の展開へフィードバックさせるとともに、成果集として機構ホームページでの公表や、冊子に取りまとめ関係地方公共団体等への配布を予定しています。

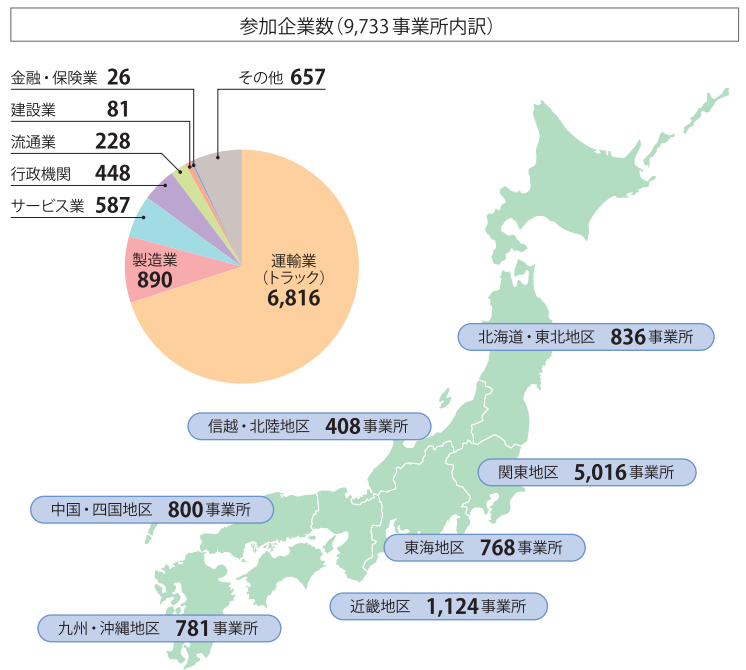
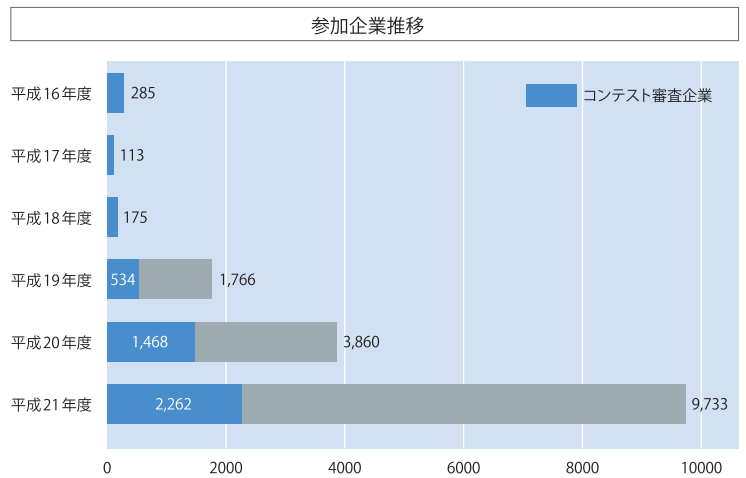


環境改善事業

◆ 知識普及事業

エコドライブコンテスト

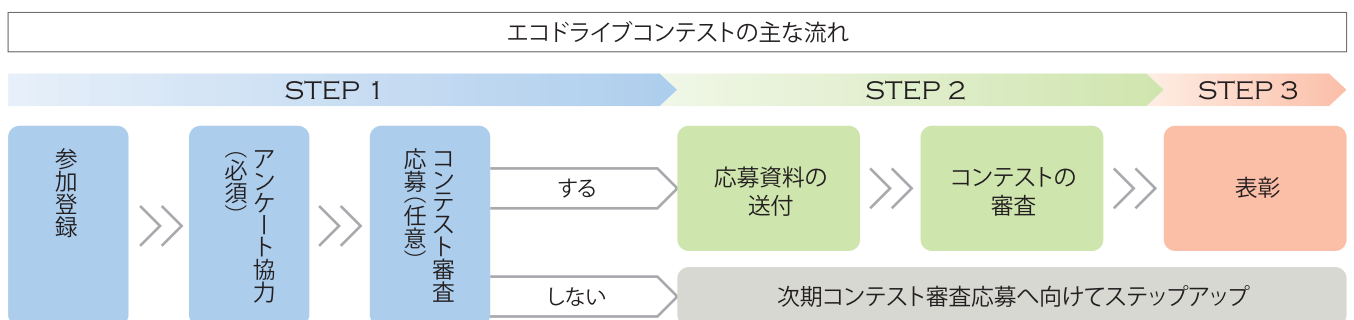
エコドライブは、一度運転方法を身につければ継続的に効果を発揮できるため、環境改善上、自動車の技術革新と併せて両輪となる大きな施策となることから、機構では、平成16年度より、エコドライブコンテストを実施し、その普及に取り組んでおります。コンテスト開始以来、参加事業者数、参加車両台数を毎年大幅に増加し、平成21年度は9,733事業所から14万台を超える参加をいただいております。選考委員会の選考において、優秀なエコドライブ事例に認められた企業には12月の大気汚染防止推進月間の表彰式において表彰を行います。



■ エコドライブコンテストの流れ

コンテスト参加は、エコドライブ活動に対する簡単なアンケートに回答する場合と燃費管理データや従業員教育などのエコドライブ活動に対する社内の取組状況などを所定の審査票にて提出する

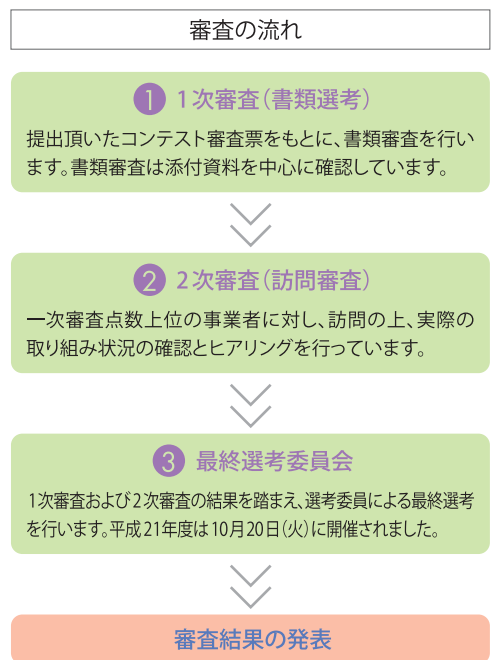
コースに分かれており、エコドライブ活動の取組状況により選択することができます。



エコドライブコンテストの審査

コンテスト審査に応募された審査票は燃費データ管理や従業員教育など6つの内容について審査を行います。

- 審査 1 社内体制**
 - エコドライブ活動の方針・目的・目標などを設定している
 - 定めた方針や計画を従業員に周知している
 - エコドライブ活動推進組織の役割を明確にしている など
- 審査 2 燃費データ管理**
 - 燃費データ管理のルールを定めている
 - 燃費の目標数値を設定している
 - 燃費データの開示(フィードバック)をしている など
- 審査 3 従業員教育**
 - エコドライブに関する教育計画やルールがある
 - 教育記録や活用した資料を保管している
 - 受講者の意見や感想などを記録している など
- 審査 4 エコドライブ活動の成果**
 - エコドライブ活動前と比較して、燃費が向上している
 - 効果測定のルールや基準を定めている
 - CO₂削減量、といった効果測定を定期的に行っている など
- 審査 5 評価の実施**
 - 活動実態を把握する仕組みやルールがある
 - エコドライブに熱心に取り組む従業員を評価する制度がある
 - エコドライブ活動の評価は適正に行われている など
- 審査 6 活動の継続性**
 - 設定した活動目標を達成している
 - 創意工夫を凝らした、独自の活動を行っている
 - すでに継続的に活動ができている など



エコドライブコンテストに関するホームページ

<http://www.ecodrivejp.com/contest2009/>

エコドライブセミナーの開催

エコドライブ活動の普及啓発とエコドライブコンテストの事業説明会を兼ねたエコドライブセミナーを自治体の協力を得て全国7箇所で開催しました。



東京会場

エコドライブコンテスト表彰式

エコドライブコンテストにおいて、優秀なエコドライブ活動事例と認められた企業は12月に開催する「大気汚染防止推進月間」表彰式において表彰が行われます。



平成21年度表彰式

平成21年度 エコドライブコンテスト受賞事業所

賞	所在地	事業所名	賞	所在地	事業所名
環境大臣賞	兵庫県(たつの市)	株式会社新宮運送	入賞	新潟県(上越市)	上越運送株式会社
理事長賞	愛知県(北設楽郡設楽町)	協進運輸株式会社 本社営業所		石川県(石川郡野々市町)	有限会社あづま運輸 本社事業所
	大阪府(大阪市)	富士ゼロックス大阪株式会社		福井県(福井市)	北陸牛乳運送株式会社
優秀賞	東京都(大田区)	有限会社金城運輸		静岡県(浜松市)	佐川急便株式会社 浜松店
	東京都(荒川区)	中越運送株式会社 東京支社		静岡県(浜松市)	株式会社スワロー物流浜松
入賞	北海道(札幌市)	NTT東日本 北海道支店グループ		静岡県(磐田市)	翔運輸株式会社
	北海道(小樽市)	丸大トラック株式会社 本社営業所		静岡県(御殿場市)	リコーロジスティクス株式会社 物流センター御殿場
	福島県(いわき市)	磐城通運株式会社 植田支店		愛知県(小牧市)	ハウス物流サービス株式会社 名古屋営業所
	福島県(いわき市)	磐城通運株式会社 植田支店 火力営業所		愛知県(東海市)	株式会社アイティー物流 本社
	茨城県(古河市)	茨城流通サービス株式会社 本社営業所		大阪府(大阪市)	越野運送株式会社 本社営業所
	栃木県(下都賀郡壬生町)	株式会社高田運送 本社		大阪府(堺市)	立正運送株式会社 堺営業所
	東京都(新宿区)	味の素ゼネラルフーズ株式会社		大阪府(八尾市)	ハウス物流サービス株式会社 大阪営業所
	東京都(練馬区)	武蔵関運輸株式会社		兵庫県(神戸市)	神姫バス株式会社 明石営業所
	東京都(江戸川区)	入船陸運株式会社 本社営業所		兵庫県(西宮市)	株式会社コープムービング 鳴尾事業所
	神奈川県(横浜市)	中央エース物流株式会社 大黒低温営業所		兵庫県(姫路市)	大光陸運株式会社 姫路営業所
	神奈川県(川崎市)	京浜物流株式会社 構内物流部輸送室商品輸送班		広島県(三原市)	コカ・コーラウエストロジスティクス株式会社 中国支店 本郷IC
	神奈川県(川崎市)	株式会社ロジパルエクスプレス 川崎営業所		山口県(宇部市)	長州貨物株式会社 本社
新潟県(新潟市)	株式会社中越エクスプレス 新潟営業所	鹿児島県(いちき串木野市)		株式会社ユタカ産業	
				沖縄県(中頭郡西原町)	内外運輸株式会社 西原営業所

エコカーワールド

6月の環境月間に合わせて、最新の低公害車の展示・試乗などを行う「エコカーワールド」を6月6日、7日に横浜赤レンガ倉庫広場において開催しました。今年で24回目の開催となります。

本年は、エコカー減税に加え、電気自動車が初めて市場に大量導入されるなど電気自動車元年として注目を浴びていることから、初日の悪天候にも関わらず、2日間で9万3千人の来場がありました。当日は、低公害車の展示(92台)に加え、「次世代自動車」をテーマとしたミニシンポジウムの開催や、各自動車メーカーによるPRコーナーを設けるなど新たな試みを実施し、エコカーの更なる普及啓発に努めました。

■ 全国各地で実施した低公害車フェア

開催自治体名	開催日	開催場所
名古屋市	平成21年9月20日	久屋大通公園
埼玉県	平成21年10月11日～12日	越谷レイクタウン駅前見田方遺跡公園
北九州市	平成21年10月17日～18日	リバーウォーク北九州
大阪市	平成21年12月4日～7日	インテックス大阪

<http://www.erca.go.jp/ecocarworld/>



オープニングセレモニー



エコカー展示



ステージイベント

大気汚染防止推進月間

■ 平成21年度大気汚染防止推進月間「ポスター図案募集」

毎年、都市における大気汚染物質濃度が高くなる12月を「大気汚染防止推進月間」とし、大気汚染防止を呼びかけるポスター図案について公募を行いました。優秀作品は「大気汚染防止推進月間」のポスターとして全国各地に掲示されるほか、カレンダーなどに活用されています。

<http://www.erca.go.jp/taiki/aoi-sora/>



募集チラシ



受賞者表彰式

◆ 調査研究

平成20年度から自動車による局地的な大気汚染を改善するための新たな研究課題として以下の3課題について研究を開始しています。初年度の研究成果について発表・評価を行うため、平成21年5月29日に東京グランドホテルにて環境改善調査研究成果発表会を開催しました。

- 局地汚染地域におけるシミュレーションモデルを用いた各種自動車排出ガス抑制対策の環境改善効果評価手法確立に関する研究
- 自然風を駆動力とする高活性炭素繊維(ACF)を用いた高機能NOx浄化システムの開発研究
- エコドライブによる大気汚染物質の排出低減効果の定量的把握に関する調査研究

